八中2年人権だより

徳島市 八万中学校
２年生　第11号
2023年９月27日
編集・文責 吉成正士

（10号からのつづき）

私たちが知ったことはほんの一部

■広島で起きた原爆についてよく分かりました。すごく分かりやすかったです。びっくりしたのは，原爆症は10年経っても起きる病気というのは初めて知ったのでびっくりしました。

毎回戦争のものを見ると胸が苦しくなります。こういうのは見ると，戦争は本当にあって，大変な思いをしている人がいたというのが，改めて分かり，つらかっただろうなと思います。原爆でたくさんの人が亡くなったことを知って，そのことを知っただけで終わらず，次へ次へと教えてあげたいです。今回見たのはほんの一部で，私たちが知らない原爆のことは，もっとたくさんあると思うので，広島の原爆についての本を読んだり，映画を見たりして，原爆のことをもっと勉強して知っていこうと思いました。

４組FM

徳島でいると，８月６日から15日は，何となく浮かれた気分になります。仕方ありません，阿波踊りでどうしてもそうなってしまいますから。けど，同じ日本でも，ここまで違うか，と思わせられるくらい，８月６日のヒロシマの雰囲気は違います。それでも，外国から見る日本人は，ヒロシマであろうとナガサキであろうと，徳島であろうと，原爆を落とされた国の人，となるわけです。その自覚が私たち徳島県民にはあるか，ということです。阿波踊りで浮かれるのは構いません。でも同時に，ヒロシマやナガサキの問題を，そこにいる人に押し込めてしまい，遠くのことにしてしまうのではなく，自分事として考えられる私たちでありたいものです。

ちなみに，広島市内の小中学校は，夏休みの登校日は８月６日です。そして，平和学習をします。でもそれは広島市内だけではなく，実は他県にもそういう市や町，学校はあって，同じように登校し，同じように平和学習をするのだそうです。八万中学校も，新型コロナで夏休み登校だった３年前には，平常の授業日だったので，朝，８時15分に合わせて平和記念式典をテレビで観て，みんなで黙とうをしました。そんな夏休みであってもいいのではないかなと思います。本当に自分事として，この問題を次の世代に引き継いでいくのなら。

“ずいぶん前に起きたよくないもの”じゃない

■私は今日，「夕凪の街・桜の国」を観て，戦争は今もずっと続いているんだなぁと改めて感じました。私は今まで，夢や希望は死んでしまったからなくなると思っていました。でも，死んでしまわなくても，被災してつらいきつい経験があると，夢や希望は失われてしまうんだと思いました。戦争で焼かれてただれている皮膚，骨すらも残っていない，死体を平気でまたぐ，死体の下駄を盗む，私は想像もできないような世界が日本にあったんだなと思いました。戦争は“ずいぶん前に起きたよくないもの”じゃなくて，今も被災した人は苦しんで原爆により病になってしまった人はいます。だから私はこれから，戦争について積極的にもっと知って，向き合い方をよく考え，身の周りのささいなことからなくしていこうと思いました。

５組ON

以前ここで，こんな文を読んでもらいました。

さて，一つだけ言い残していることがあります。「**2．あなたは，さまざまな戦争と何か関係しているでしょうか。どのように関係しているでしょうか。**」についてです。多くの人が，「日本が過去の戦争にかかわったから」といった話をしてくれました。でも，実は今も世界中の戦争に日本が大きくかかわっていると言われたらどうでしょう。

戦争が起こる理由は様々です。地下資源やエネルギー資源，食料資源の奪い合い，土地の奪い合い，安い労働力の確保などによる貧富の拡大など。持っている者が富み，持たざる者が貧しくなります。持てない者は不満を抱きます。争いに発展します。ではいったい誰が奪い，富を得ているのか。先進国です。日本も先進国の一つです。つまり，私たちが経済的に豊かになればなるほど，そのしわよせが世界のどこかに行くわけです。私たちが良い物を安く手に入れられる代わりに，世界のどこかでは貧しい人が貧しいままになるわけです。私たちが普通に生活しているだけで，世界に不均衡をもたらしているわけです。かといって，すぐに何ができるかと言われると分かりませんが，そのことをまず知っておくことは，私たちの義務のように思います。

覚えてますか？つまり，私たちは戦争にかかわっているし，今も戦争に加担しているのです。関係ないわけではないのです。決して他人事ではないわけです。

地球温暖化の問題もそうです。CO_2 は私たちも排出していますが，先進国はより多く排出しています。にもかかわらずその被害は，先進国だけでなく，他のすべての国に多大な影響を与えています。なかには太平洋の島国のように，暮らすことすら難しい状況もあります。にもかかわらず，私たちはどこかで，「まあ何とかなるだろう」とか，「誰かがどうにかしてくれるだろう」とか思っていないでしょうか。電気の無駄遣いをしていないでしょうか。水の無駄遣いをしていないでしょうか。食料の無駄遣いをしていないでしょうか。本当に自分事としてとらえられているでしょうか。この問題は本当に「待ったなし」なのです。他人事ではいられません。明日を生きる次の世代のために，戦争のない世界，生きていける世界を本当に考えるならば，今，変わることです。

みんなで幸せになれたら

■私はこの映画を見て，今まで以上に広島へ行きたい，行って知らなければならないと感じました。私は当事者ではないので，被爆者の方々の気持ちは分からないけれど，その場に行って，目と心で見て，全身で感じて考えることはできるので，８月６日，広島へ行こうと思いました。

映画の中で，七波さんが，「置いて行く側の気持ち」を話しているのを聞いて，やっぱり「置いて行く側」の人も，「置いて行かれる側」の人も，同じ「悲しい」という気持ちがあるのだと感じました。大切な人を置いて行ってしまうかもしれないと思っていた七波さんに，旭さんが「幸せになれよ」という言葉をかけていたところは，とても感動したし，家族思いの人だなと思いました。

私は人の幸せと自分の幸せを願うことのできる大人になりたいです。そして，自分の幸せを周りの人にも分けて，みんなで幸せになれたらいいなと思います。

５組HM

いつか原爆資料館に行ってみたい

■私は「夕凪の街・桜の国」を観て，あらためて戦争の恐ろしさを感じました。被爆した皆美さんが，私は生きていていいのかなと言っていたところが心に残りました。原爆が落とされて死んだ人たちの死体を踏んだり，友達に助けを呼んでくると言って戻らなかったことで，皆美さんは自分を責めていたけれど，私もその状況だったら，怖くて誰も助けられないと思いました。

皆美さんが，幸せなことがあったとき，原爆の日のことがすべてよみがえってくると言っていて，原爆で死ななかった人もすごくつらい思いをしたんだろうなと思いました。原爆は，十年経っても原爆症で亡くなる人がいたり，本当にたくさんの人の命を奪って恐ろしいと思ったし，もう二度と起こしてはいけないことだと思いました。今でも被爆者への差別があることも忘れてはいけないと思うし，もっと知ることも大切だと思うので，いつか広島の原爆資料館にも行ってみたいなと思いました。　　６組IH

昔，障がいがあって車いす生活をしている中学生と交流学習をしていたことがありました。一緒に給食を食べたときのことです。その日はカレーでした。目の前の車いすの中学生が，スプーンを持ちにくそうにしながらも上手に持って，食べていたカレーを隣で付き添っている先生に向けて差し出したことがありました。「えっ？！何してるん？」と思ってドキッとしました。相手の先生は，「あー，美味しかったのね，ありがとう。先生は自分の分があるから，自分の分はちゃんと食べていいのよ」と返しました。その子は満足した様子で，ニコニコ笑顔でスプーンのカレーを口に入れました。

私は，もし自分がそうされたらどうふるまっただろう，と考えると，情けなく，恥ずかしい気持ちになりました。まず，「汚い」と思ってしまったからです。それが私の差別意識なのかもしれません。でもその子は本当は，自分が「美味しい」と思ったものを，先生にも「おすそ分け」したかっただけなのです。そんな純粋な行為を素敵だなぁと思いますし，自分の感じた感情を，情けないなぁと思いました。

幸せは独り占めしないことです。その幸せを「当たり前」だと思わないことです。この幸せは「たまたま」だから，独り占めするのではなく，みんなで分かち合おうとすることです。美味しいものは，一人で食べるより，たとえ少なくなっても，みんなで食べる方が美味しく感じられます。そこに，みんなで分かち合った「笑顔」という調味料が加わるからです。そんな心のゆとりを大切にしたいものです。

ヒロシマを，ぜひ訪れてください。きっかけは何でも構いませんし，誰と行っても，一人で行っても構いません。とにかく学校行事としてではなく，自力で行ってください。広島平和記念資料館だけでも，一度では見切れないでしょう。すべてを見尽くすことはできないと思います。見ているうちに，気持ちが「お腹いっぱい」になるからです。それ以外にも，公園内にあるたくさんの碑を見たり，周辺にある原爆にまつわる遺跡もあります。いっぱいありすぎて見切れないと思います。だから，何度も訪れることをお勧めします。

そして，できればその日，８月６日午前８時15分のヒロシマに行ってみてください。その人の多さと，厳粛（げんしゅく）な雰囲気にきっと飲まれると思います。飲まれてください。そのうえで，ヒロシマを感じてみてください。それと，できることなら，前夜から行くことを勧めします。前夜から，公園内を散策することです。６日の朝は，できるだけ早く，できれば日の出前に公園に行き，８時15分を迎えるといいでしょう。その後は，公園内に見て回るところはありますし，会議場ではいろんなイベントもやっていますから，一日中過ごすことができます。そして，知ることも大切ですが，感じることも同様に大切にしてもらえるといいなと思います。

一日一日と，修学旅行が近づいてきます。それに向けての準備もしていかなくてはいけませんが，同時進行で，平和学習も続けていきます。

今週から，総合の時間を使って様々な戦争について学んでいきます。来月には，沖縄戦を描いた「さとうきび畑の唄」もみんなで観ます。11月には，学年全体で人権・平和学習を行います。気持ちをつくって，沖縄を訪れようと思います。

でも，もっと大事なことは，終わって帰ってきた後です。修学旅行が終わったら，平和学習も終わるのではありません。「一時」の学習で終わっていいものではないはずです。人権学習と同じです。試されるのは，「その後」なのですから。